

オープンキャンパス 2010 実施報告

中村 尚香 Naoka Nakamura	九州産業大学 情報科学部 情報科学科 助手 Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University naoka@ip.kyusan-u.ac.jp
吉塚 武治 Takeharu Yoshizuka	九州産業大学 情報科学部 情報科学科 助手 Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University yosiduka@ip.kyusan-u.ac.jp
安武 芳紘 Yoshihiro Yasutake	九州産業大学 情報科学部 情報科学科 講師 Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University yasutake@is.kyusan-u.ac.jp, http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~yasutake/

1. はじめに

情報科学部における九州産業大学オープンキャンパス 2010 の取り組みを紹介する。「高校生には夢と希望を」「父兄には安心を」の2つをモットーに、来て楽しめ、かつ情報科学部への入学に期待と希望を持って帰宅するような内容とする。九州産業大学 12 号館 1 階をメイン会場とし、研究室や情報システム研究会の学生による学生主体のオープンキャンパスを実施している。

2. 来場者と参加者数

今年度と過去2年間の来場者と参加者数を図1に示す。注目すべきは本学部(12号館)に訪れた来場者が、学部内のイベントをどの程度見て回ったかを表すイベント来訪者数である。イベント来訪者は、2008(1)(2)では来場者の1.3~1.6倍、2009(1)では来場者の1.8倍に対して、2010(1)は来場者の1.4倍と低い値となった。学生の積極的な棟外広報により来場者は増加しているのに、来場者をそれぞれのイベントが受け入れきれないと推測される。また、各イベントブースでの集計が徹底されていないことによる集計漏れの可能性もある。次のオープンキャンパスではこの点を改善したい。

3. 開催内容

情報科学部で行った模擬講義、研究室イベント、学部進学相談、広報活動を紹介する。

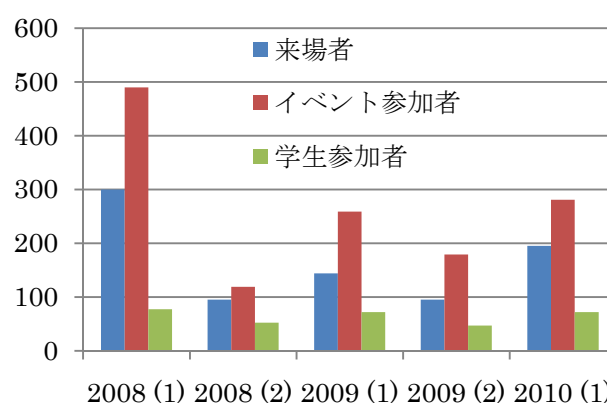


図1 来場者数と参加者数※(1): 夏, (2): 秋

3-1 模擬講義

情報科学部では12105教室で一ノ瀬裕教授により、講義形式で以下のテーマで模擬講義が行われた。

人間の情報処理の複雑さを知ろう —錯視や音の聴き分けを体験してみませんか？

人間の情報処理をテーマに高校生にも解りやすく内容を解説し、錯視や音の聴き分け等の実体験を通してより理解を深められるような工夫がなされていた。高校生からは「興味を持つことが出来た」といった感想が多く聞かれた。また、今回のオープンキャンパスでは例年に比べ模擬講義への参加者数が大変多く、高校生だけではなく一緒に来学された父兄も参加する姿がみられた。

3-2 情報科学部体験イベント

1階ロビーで体験イベントを開催した(図2, 図3,

図 4)。イベントは研究室からの出展が多数あり、他にも情報システム研究会からの出展や進学についての相談を受ける学部進学相談窓口(図 5)を設

置した。また、今回は新たな試みとして経済学部と合同で IC カードスタンプラリー(図 6)も行われた。



図 2 体験イベントの様子(1)



図 3 体験イベントの様子(2)



図 4 体験イベントの様子(3)



図 5 学部進学相談



図 6 IC カードスタンプラリー



図 7 懇親会

以下に、開催されたイベントのタイトルを紹介する。

- ・ 安全運転教育用シミュレータ (松永・合志研究室)
- ・ 実時間・事後安全運転支援システム ASSIST (松永・合志研究室)
- ・ 足型測定器 (松永・合志研究室)
- ・ 手動車いす移動者支援経路誘導システム用データ収集システム (松永・合志研究室)
- ・ インターネットの入口を作ろう！ (下川研究室)
- ・ 仮想電波実験 (石田研究室)
- ・ 企業と“コラボ”ってる授業ってどんな感じ？ (稲永研究室)
- ・ 物理演算ゲームを体験しよう (米元研究室)
- ・ QR コードで広がる、つながる、みんなの輪 (古井研究室)

- ・ 簡単！自分の Web ページをつくってみよう (情報システム研究会)
- ・ ゲームアプリの体験とゲームの中身をみてみよう (情報システム研究会)

3-3 学部進学相談

12号館1階に学部独自の進学相談コーナーを設置した。ここには常に複数の教員がおり、入試制度やカリキュラム付けた。今回は9名が相談に訪れ、約15分程度のやりとりをされる方が多かった。また、希望者には施設見学として、講義室や実験室、普段は見ることの出来ないサーバ室などを案内した。

3-4 広報活動

主に高校訪問や高校来校の際にオープンキャンパスの紹介を行っているが、Web ページ(PC,携帯)

による広報活動も行っている。また、毎週土曜日にミニオープンキャンパスを開催しており、学部の説明や進学相談を行っている。

4. まとめ

学部棟外での広報等、学生の積極的な活動により、来場者数の増加につながった。さらに、模擬講義には大変多くの来場者に参加して頂けた。し

かしながら、イベント来訪者数の低下から、イベントの拡充、新しい試みへのチャレンジ、来場者への応対等、更なる改善が必要である。

最後に、実施に協力して下さった稲永先生をはじめ教員と事務職員みなさま、また懇親会(図7)を援助して下さった学部互助会に感謝を述べたいと思う。